

令和7年度あわら市行政評価外部評価委員会会議録（要旨）

- 1 日 時 令和7年10月2日（木） 13:30～16:30
- 2 場 所 あわら市役所正庁
- 3 議 題 ・行政評価（施策）の外部評価
- 4 資 料 ・令和6年度施策評価シート等
- 5 出席者 委 員：桑原委員（会長）、市野委員、加藤委員、山口委員、久野委員、
田嶋委員、小嶋委員、坂野委員
内部評価委員：前川副市長、渡邊創造戦略部長
総務部：岡田部長、中辻総務課長、炭谷危機管理課長、三上財政課長、
浅田監理課長
創造戦略部：藤田市民協働課長
市民生活部：江川部長、磯部市民課長、北島生活環境課長
健康福祉部：中道部長、矢部福祉課長、村中健康長寿課長、
高橋子育て支援課長
経済産業部：中嶋部長、宮川商工労働課長、山本農林水産課長、
翠観光振興課課長
土木部：大味部長、松井理事、細川建設課長、山口上下水道課長
教育委員会：山下教育部長、堀江教育総務課長、水崎教育総務課参事
中道文化学習課長、山本中央公民館長、
九千房郷土歴史資料館長、近馬スポーツ課長
事務局：西正政策広報課長、多賀政策広報課長補佐、南政策広報課主査

6 会議

- ・委員の出席状況の報告
- ・議事

※以下の議事録において、施策番号は<1>～<4>で表記する。

ACTION 1

| | |
|-----|-------------------------------|
| 事務局 | Action1（環境）に係る施策<1>～<4>について説明 |
|-----|-------------------------------|

| | |
|-------|---|
| 会長 | Action1について意見や質問はあるか。 |
| 委員 | <3>のNo4「自主防災組織の設立数」について、現在112組織あるということだが、人口のカバー率だとどれくらいになるのかお伺いしたい。 |
| 総務部 | 人口のカバー率の正確な数値については把握していない。 残り20区ほどが未設置となっているが、ほとんどが人口の少ない小規模の区になり、約8割程度はカバーできていると認識している。 |
| 委員 | 区長という立場から、組織を立ち上げても実態として活動がないという話も聞くので、実態の把握についても努めていただきたい。 |
| 総務部 | 各区への防災出前講座を順次実施しているほか、例年の総合防災訓練の際に、住民避難訓練など各区独自の訓練の実施を呼びかけており、より多くの区が活動できるよう取り組みを進めていきたい。 |
| 委員 | 出前講座だが、区からの要望がなければ実施されない。行政の方で日程を決めて、全ての区を対象に順番に実施するぐらいで進めていただきたい。 |
| 総務部 | ここ10年間で70区ほど実施しているが、実施できていないところから積極的な呼びかけを検討したい。 |
| 委員 | <4>に特定空家等の件数とあるが、特定空家となる要件は何か。 |
| 創造戦略部 | そのまま放置すれば倒壊等で保安上危険となる状態などが認められるものが特定空家となる。 |
| 委員 | 特定空家について、毎年増えているという認識でよいか。 |
| 創造戦略部 | 雪や台風などにより状態が変わってくるので、職員が逐一確認を行い、特定空家の認定をしている。 |
| 委員 | その他の空家の状況はつかんでいるか。 |
| 創造戦略部 | 空家の状況については、ランク別に管理しており、件数も把握している。 |
| 委員 | 空家の利活用について、どのように実施しているか。 |
| 創造戦略部 | 住居として利用できる空家について、空家バンクに掲載することで、借り手や買い手を募集している。 |

| | |
|-------|---|
| 委員 | 特定空家の対策や利活用について、もう少し積極的な対策を進めることが検討されたい。 |
| 創造戦略部 | 空家については、状態の良いうちに所有者に対策していきたい。住居として利用できるような空家の所有者に対して、空家バンクへの登録を促し、利活用を促進しているので、引き続き取り組んでいきたい。 |
| 委員 | <3>について、防災士の資格はどういった方が取得されているか。 |
| 総務部 | 防災に关心のある市民の方や郵便局職員、市職員が多い。 |
| 委員 | 防災士の資格の認知度が低いと思われる所以、もっと周知に努めたい。 また、避難先で二次災害にあうという話もあるので、適切な避難所の選定・管理について、しっかり対応いただきたい。 |
| 総務部 | 防災士の資格に件については、認知度は年々向上していると考えているが、今後とも周知に力を入れていきたい。 避難所についても、より安全な場所になるよう検討を進めていきたい。 |
| 委員 | <1>におけるプラスチック漂着ごみを再利用したトイレサインとはどんなものか。 海岸清掃に市がどのように関わっているのかも教えていただきたい。 |
| 市民生活部 | トイレサインについては、昨年度初めて実施したもので、海岸漂着ごみを福井市の業者にリサイクルで製作してもらったものである。公共トイレの性別を区別するサインに利用している。 海岸清掃については、実施自体は外部が段取りをしているが、ごみの回収・処分について市として協力している。 |
| 委員 | <1>のNo14「墓地台帳の整備率」というものがあるが、市営の墓地は何箇所あるか。 |
| 市民生活部 | 市の条例に基づき設置されており、現在1箇所ある。 |
| 委員 | <3>の防災士資格取得者について、女性の方も増えていると思われるが、女性目線での防災についても取り入れていただきたい。 |

| | |
|-----|--|
| 委員 | 社会福祉協議会でも、防災マップの作成を行っているので、連携して進められたら良いと考えている。 |
| 総務部 | 防災マップ作成については、既に連携している実績があるので、引き続き取組を続けたいと考えている。 |
| 会長 | <p>(Action1 のまとめ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織実態活動をしっかり把握すること ・防災の出前講座を希望性ではなく、全区を対象に実施すること。 ・様々な災害を想定した適切な避難所の確保 ・防災士の資格について認知度の向上 ・防災マップ作成に係る関係機関との連携 ・空家に対する対策と利活用の推進 |

ACTION4

| | |
|-------|---|
| 事務局 | Action4 (都市) に係る施策<18>～<23>について説明 |
| 会長 | Action4 について意見や質問はあるか。 |
| 委員 | 上水道の件について、以前の新聞記事であわら市から県へ水道用水の料金を使用量よりも多く払っているという記事があったが、その話はどうなったのかお伺いしたい。 |
| 副市長 | 現在、県と制度の見直しの協議を始めて、交渉中の段階。 現行では、責任水量制といい、使用量に関わらず水道用水の料金を支払う制度となっているが、人口減少などにより市の使用量も減っているので、制度を変更して、一般家庭における水道料金の考え方のような基本料金および従量料金制度に改正するよう協議している。 |
| 委員 | <21>の No6 「放置自転車撤去台数」というものがあるが、放置自転車はどれくらいの期間放置されないと撤去されるのか。 |
| 市民生活部 | 明確な基準はないが、年に一度各駐輪場のパトロールを行っており、その際に放置自転車に張り紙等で周知を行い、その後で一定期間何も反応がなければ撤去を行っている。 |
| 委員 | 放置自転車について、衛生面で問題があるので、パトロール頻度をやすことを検討していただきたい。 |

| | |
|-------|--|
| 市民生活部 | 撤去に向けたパトロールというところでは年1回の実施だが、駐輪場の管理については、確認の頻度を増やしながら、自転車の状態やごみの状況により即座に撤去するなど適切な対応を進めていきたいと考えている。 |
| 委員 | <20>におけるにぎわい広場の民間提案について、昨年度は不調に終わったが、今年度の状況はどうか。 |
| 副市長 | 今現在募集中であり、応募が見込める状態である。 今年度は採用できると考えている。 |
| 委員 | 下水道に関して、以前に八潮市で下水道管の老朽化による道路陥没があったが、老朽化の調査状況がわかれれば教えていただきたい。 |
| 土木部 | 危険箇所について予測できるため、毎年そういったところを優先的に調査している。 調査結果では、一部腐食箇所があったので、そういった箇所については補修しながら対応していく。 |
| 委員 | <19>のNo1「国道8号バイパス」に関して、現在の進捗状況はどれぐらいか。 |
| 土木部 | 用地買収の進捗率としては41%である。 |
| 委員 | 平日でも交通量が多いため、なるべく早く進めていただきたい。 |
| 委員 | <21>の公共交通機関に関わることだが、芦原温泉駅での新幹線利用者を確保することで、今後も継続して芦原温泉駅に停車する新幹線の本数を確保いただきたいが、近隣市町の方も含めて乗降者を増やす取組は何かしているか。 |
| 副市長 | あまり周知できていないのが現状である。 坂井市については、職員や市民の方に利用してもらえるよう呼びかけなど行っていきたい。 |
| 委員 | <18>の土地利用の適正化について、具体的にどういった取組になるのか。 |
| 土木部 | 例えば、農地で農業振興地域に指定されているところは、農用地として適正に利用していくこと、市街地でいうと、指定された用途に合わ |

| | |
|-------|--|
| | せて、景観環境等を守っていくといった内容になる。 |
| 委員 | 市が所有している公共施設について、老朽化も進んでいると思われるが、そういった施設の再活用や跡地利用などは検討されているか。地籍調査に関して、法定外公共物などの誰の所有かわからないような土地が多くあると思うが、行政としてどのような対応をしているか。 |
| 副市長 | 公共施設の再配置については、人口減少や財政状況も鑑みて、各施設を廃止するのか、建て替えるのか等を公共施設再配置計画の方で、今後お示しさせていただきたい。 |
| 土木部 | 地籍調査については、申請者本位のところがあるが、隣地所有者や地元の同意をとりながら、しっかり確定していくという進め方になる。境界確認の際などに地権者が絡むことになるので難しいが、行政として助言などは行っている。 |
| 委員 | <21>に関連して、温泉街で最近空き地が増えていると思うが、そういった場所で雑草やごみが目立っている。この問題についてどう考えているか。 |
| 市民生活部 | 空き地については、ごみや不法投棄、雑草などの問題に関して、パトロールを行い、対応していただけるよう地権者の方に協力をお願いしている。繰り返し通知などを行い、指導を続けていきたい。 |
| 委員 | 地籍調査について、国影区がだいぶ前に実施していたが、いまだに境界が固まっていない場所がある。地籍調査の再実施ということは可能か。 |
| 経済産業部 | 国影については、国の事業として取り組むことは難しいが、測量についてはある程度終わっているので、再度事業を進めることはできると思われる。 |
| 会長 | (Action4 のまとめ) <ul style="list-style-type: none"> ・下水道の老朽管についてはしっかりとメンテナンスを行うこと ・土地利用の適正化について、空き地や跡地利用まで考えて長期の目線で取組を行われたい。 |

| | |
|--|---|
| | ・新幹線の利用推進について、近隣自治体を含めて乗降客数の確保のためにしっかりと PR に努められたい。 |
|--|---|

ACTION2

| | |
|-------|---|
| 事務局 | Action2（健康）に係る施策<5>～<12>について説明 |
| 会長 | Action2について意見や質問はあるか。 |
| 委員 | <7>について、民生委員等の人材確保に関して、取組の進捗状況等お伺いしたい。 また、民生委員の活動日数が少なくなっているとのことだが、その原因と対策についてそれぞれお伺いしたい。 |
| 健康福祉部 | 普及啓発活動に加え、やりがいを感じられるように業務内容の見直しも検討している。 活動日数自体は減っているが、高齢者の方に対する見回り活動など熱心に取り組んでいただいている。 ちょうど改選時期になるので、広報・周知等取り組んでいきたい。 |
| 委員 | 人員の確保対策については、長期的な計画で取り組んでいきたい。 活動の回数だけを考慮するのではなく、活動内容をしっかりと行うという観点で考えてほしい。 |
| 委員 | <6>の No3 「朝食欠食児童生徒数割合」と<13>の教育関連の No2 「朝食を毎日食べている児童生徒の割合」の数値に矛盾があるのではないか。 |
| 健康福祉部 | 欠食児童生徒数の場合は全く食べない子のみ計上されており、ときどき食べている子などは含まれていないので、数値の捉え方が異なっている。今後指標を設定する際にはわかりやすくしたいと考えている。 |
| 委員 | <6>の内部評価委員会の意見で、連携協定を結んでいる企業との連携が推奨されているが、具体的にどういった企業と連携しているのか。 |
| 健康福祉部 | 最近だと、ヤクルト北陸と健康づくりに関するイベントをアフレアで行った。他にも明示安田生命と連携しており、健康に関する機材を貸し出しなどで協力いただいている。 |

| | |
|-------|---|
| 委員 | 社会福祉協議会として、小学校で朝食欠食対策のための出前授業を行っている。中学生の方にも取組を広げたいと考えているので、ご協力お願いしたい。 |
| 健康福祉部 | 中学生向けの料理教室を夏休みに実施するか、授業に組み込むことができないか検討しているので、また協議しながら進められると良い。 |
| 会長 | 朝食欠食について、様々な指標があると、施策を行ったことで、改善したのかどうかがわからない。指標について、しっかりと統計を取りつつ効果を分析できるような形で進めていただきたい。 |
| 委員 | <9>・<10>に関連して、あわら市の高齢化率はわかるか。また、市として高齢者に対して行っている施策があまり見えてこないように感じるが、どのようなことに取り組んでいるのかお伺いしたい。 |
| 健康福祉部 | 令和7年3月末時点で、本市の高齢化率は35.07%となっており、福井県全体や全国と比較しても高い方になる。行っている取組については、体力測定や体操教室といった、介護予防のための教室を幅広く行っている。他にも老人クラブなど、生きがいをもって元気に過ごしていただくことを目標として施策を行っている。 |
| 副市長 | 高齢者の方に対する施策というのが弱いと感じているので、今後高齢者のためのサービスなど、どういったものがあるのかしっかり示していくことが大事だと考えている。 |
| 委員 | <11>のKPIである「妊娠期からの相談や経済的支援などの子育て環境が充実していると考える市民の割合」について実績が低いが、その原因は何か。 |
| 健康福祉部 | この指標は市民アンケートの結果であるが、子育て世帯でない方も幅広く回答しており、わからないという回答も多い。 |
| 副市長 | 行政サービスの存在を知らないという方も多いと考えており、妊娠の時からどんな支援があるのかをまとめたリーフレットを作成して周知を図っているが、今後もそういった取組みを進めていく必要があると |

| | |
|-------|--|
| 副市長 | 感じている。 |
| 委員 | 健康長寿の集いについて、昨年度と今年度は何か所行われているか。 |
| 健康福祉部 | 昨年度は12地区のうち7地区で、今年度も同じく7地区で実施予定。参加人数も同じくらいの見込み。 |
| 委員 | フレイル予防については重要であるので、市民への周知に努めていただきたい。 |
| 会長 | (Action2のまとめ) <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員の人数の確保だけでなく、活動内容の充実が重要である。 ・児童・生徒の朝食の欠食対策について、指標を統一するなどして、施策をしっかりと評価できるように取り組んでいただきたいこと。 ・高齢者・子育て施策全般的に、市民への周知がまだまだ不足していると考えられるので、周知方法について検討されたい。 |

ACTION5

| | |
|-------|--|
| 事務局 | Action5（経済産業）に係る施策<24>～<31>について説明 |
| 会長 | Action5について意見や質問はあるか。 |
| 委員 | <25>のNo2「担い手の育成と支援」に関連して、昨年度外国籍の方と日本人の夫婦に補助を行っていると思われるが、外国籍の方に対しての補助の方針について、考え方をお伺いしたい。 |
| 経済産業部 | 外国籍の方についても、要件を満たしていれば特に問題なく補助を行っている。 |
| 委員 | <29>のKPI「日用品などの買い物がしやすいと考える市民の割合」について、減少傾向にある。 最近だとドラッグストアで何でも買える時代になっているが、それでも減少傾向にある原因はどこにあるのか。 また、目標値として65%が設定されているが、全ての市民が買い物をしやすいと感じる環境をつくるべきではないか。 |
| 経済産業部 | 村部にある個人商店が閉店していく傾向にあり、市内の事業所の数は減っている。また、買い物に出かけることが難しい方が増加していることなどが原因ではないかと考えている。 |

| | |
|-------|--|
| 経済産業部 | 100%になることが望ましいが、行政の取組だけでは難しいと感じている。 |
| 委員 | <31>に関して、高知県香美市が姉妹都市になっているが、朝ドラであんぱんも放送されていたので、そういった機会に便乗してあわら市としてもPRしたいといった意見はなかったか。 |
| 副市長 | 著作権の問題やNHKとの絡みもあったので難しかった。 |
| 会長 | 外国籍の方の人数が増えているが、外国人支援について全般的に市としてどういう対応をとっているか。 |
| 創造戦略部 | 外国語版の生活ガイドブックを作成して、転入手続きの際に配布している。また学校現場については、外国籍の子どもの数は少数であり、翻訳機を活用している。 |
| 会長 | 外国籍の方は今後増加していくと思われる。また、住民税徴収の際には国外に帰ってしまっていて、徴収が困難という問題もよく耳にする。外国人に関する対応については、長期的な対策が必要になってくると考える。 |
| 会長 | <24>について、観光入込客数や宿泊観光客数が増えており、その点は良いと思うが、旅館や飲食店の働き手のようなまちづくりを担う人材の状況はどうか。 |
| 経済産業部 | 労働者の全般的なことでお答えさせていただくと、国内で有効求人倍率がかなり高いということで、市内事業者は人材不足に悩んでいる。それに対して、外国人労働者や派遣労働者、シルバー人材センターなどで対応しているが、追い付いていない状態。 |
| 会長 | 一般的な雇用対策として、インターンシップの推進や奨学金支援が考えられるが、対応策としてはそれ以外の方法は難しいか。 |
| 経済産業部 | インターンシップの受入については、今年度から事業を再開した。 |
| 創造戦略部 | 奨学金支援については、令和6年度から開始しているが、申請者は少ない状況。 |
| 経済産業部 | それ以外には、企業が市外の従業員に対して、アパートを借りるなど、住居を用意した場合に補助金を出すといった取組を行っている。 |

| | |
|-------|--|
| 委員 | 外国人の特定技能実習生などが増えていると思うが、外国人を受け入れる側の管理団体に対して、市はどのように関わっているのか。 |
| 創造戦略部 | 特定技能関係であれば、行政への報告が必要となっており、そういう企業等に対して情報発信や働きかけなどどういったやり方が良いのか検討している。 |
| 会長 | (Action5 のまとめ) <ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市である香美市との間で、美術館などを活用した連携にもう少し取り組んでいただきたいこと ・外国人対策に関して、外国人本人の方だけではなく、企業や周辺住民の方に対する施策もしっかりと進めていただきたいこと |

ACTION6

| | |
|-------|--|
| 事務局 | Action6（地域社会）に係る施策<32>～<35>について説明 |
| 会長 | Action6について意見や質問はあるか。 |
| 委員 | <34>について、KPI である合計特殊出生率が同じ数値（1.39）なののはなぜか。 |
| 創造戦略部 | 5年に一度の国勢調査を基に算出されたものになり、市の分としては5年ごとの更新になる。 |
| 委員 | <35>の内部評価委員会の意見として、生成AIの活用による業務効率化があるが、具体的にどういった業務を想定しているか。 |
| 創造戦略部 | 全般的に、Microsoft365というシステムを導入しており、その機能である生成AIにより、会議録の作成やアンケート集計などの場面で活用を進めている。今後様々な場面で活用できるよう検討を進めている。 |
| 委員 | <32>のNo3「自治会加入率」について、毎年少しづつ減少している。この原因はどんなことが考えられるか。 |
| 総務部 | 新しい転入者などは、地域コミュニティに参加しない方もいらっしゃると思われる。また、世帯員が高齢者のみで参加ができなくなったということも考えられる。 |
| 委員 | これに関して、自治会には入らず自治会費も払わないが、ゴミステー |

| | |
|-------|--|
| | ションは使用するといったことで、トラブルが発生しているという話も聞くが、そういう問題はないか。 |
| 総務部 | そういう件で相談は受けている。利用者にある程度の負担は求めるべきではないかといった助言を行っている。 |
| 委員 | <35>の N018 のふるさと納税に関して、毎年納税額が伸びているが、入ってきたふるさと納税はどんなことに使われているのか。 |
| 創造戦略部 | 寄付されたふるさと納税については、一旦基金に積み立てた上で、翌年度以降にどういった事業に充てていくのか検討する。 寄付を受ける際には、どういった事業に充ててほしいのか確認しており、「芦原温泉駅周辺に活気を取り戻し、快適な都市空間に生まれ変わらせるための事業」のような項目がある。 例えば、近年ではアフレアに関する事業などに活用している。 |
| 委員 | <32>の KPI であるホームページアクセス数について、少しずつ増えているといった状況だが、アクセス数を増やすための研究などはされているか。 |
| 創造戦略部 | 最近では市の情報発信の媒体として、フェイスブックやインスタグラム、公式ライン、Youtube などを活用しており、そこからホームページに誘導するようなやり方をしている。 また、広報戦略アドバイザーとして外部人材を活用しており、そういった方にご意見をもらいながらより良い仕組みを検討していきたいと考えている。 |
| 委員 | ふるさと納税に関して、事務費はどれぐらいの負担率になっているか。 |
| 創造戦略部 | 返礼品の費用やシステム利用料などの経費については、寄付額の 50% 以内に収めるよう指導されている。今回 12 億円以上の寄付額に対して、約 6 億円の経費を使っており、50% 以内に抑えている。 |
| 委員 | ふるさと納税は、毎年大きく変動しており、予算で見込みをたてることが難しいと思われるが、税収とは別のものとして考えているか。 |
| 副市長 | ご認識の通りである。 |

| | |
|-------|---|
| | 変動が大きいので、経常経費には充てずに、建設費などのイニシャルコストに活用するようにしている。 |
| 委員 | <34>の人口減少対策で、KPI の UIJ ターンの移住者数は増えているが、人口全体としては減っているように感じる。 出会い創出のイベントなども実施していると思うが、成果はどうだったか。 |
| 創造戦略部 | イベントを通じての結婚の実績は1名のみ。ただし、イベント後の追跡調査は難しいので、実態として完全には把握できない。 昨年度から始まった制度である地域の縁結びさんが関わっている方については、状況を確認することができるのではないかと考えている。 あわら市の婚姻数については減少傾向にあり、今後縁結び関係には力を入れていきたい。 |
| 委員 | 婚活イベントに関連して、市内の飲食店や宿泊を利用できる招待券を出したりするなど取り組まれてはどうかと思う。 |
| 委員 | 市民サービスについて、マイナンバーカードなども活用して、窓口の一本化を対応できないか。 |
| 創造戦略部 | できるだけワンストップで対応できるように進めていきたい。総合窓口というものも設けており、手続き内容を相談すれば案内は可能である。 DX化により、インターネットを活用した手続きが進むことが一番良いとは考えている。 |
| 会長 | 市民生活が便利になるようにDX化するという点について、外向けのDX化というのは手法が難しいと思われる。 内部の手続きの案内については、アナログな対応で満足度向上につなげられる場合も多いと思われる。 DX化に関しては、内部の効率化に特化しても良いと思う。 |
| 会長 | ホームページのアクセス数については、少し増加しているような状況だが、そのことに関連して、令和6年度から活用している広報戦略アドバイザーの成果や背景についてお伺いしたい。 |

| | |
|-------|--|
| 創造戦略部 | 広報戦略アドバイザーについては、ホームページというよりは、SNSによる情報発信に力を入れている状況。 ホームページについても課題はあると考えているので、市民により情報が届けられるように検討していきたい。 |
| 創造戦略部 | あわら国際交流友の会という市民団体があり、市内外外国人向けの研修会などを実施することで支援を行っている。 市内の外国人への対応について、今後も検討していく。 |
| 会長 | (Action6 のまとめ) ・人口減少対策について、婚姻数の追跡調査ができないという話だが、いろいろとアイデアはあると思われるので、検討いただきたいこと。 ・マイナンバーカードや DX 化を活用して、窓口対応の満足度向上やワンストップ化を図っていただきたいこと。 |

ACTION3

| | |
|-------|---|
| 事務局 | Action3 (教育) に係る施策<13>～<17>について説明 |
| 会長 | Action3 について意見や質問はあるか。 |
| 会長 | <14>の内部評価委員会にて、日常的にスポーツに接している子どもの数の把握について意見が挙がっているが、この背景は何か。 例えば、スポーツ少年団だけでなく、スイミングスクールなどの習い事であっても、スポーツに接している子どもの数が多ければ良いと考えているのか。 |
| 教育委員会 | ご認識のとおりである。 |
| 会長 | そうなってくると、各家庭における所得格差が大きな問題となってくるが、そのことに関してどう考えているか。 |
| 教育委員会 | ある程度は所得に関係なくスポーツに親しめる環境を市として提供する必要はあると考えている。 |
| 会長 | 従来の野球やサッカーのようなスポーツだけでなく、ニュースポーツなどの手軽に楽しめるスポーツを取り入れるなどの方法も考えられると思う。 |

| | |
|-------|--|
| 委員 | <13>の「学校教育の充実」に関連して、スクールバスを利用できる基準はどのように定めているか。 |
| 教育委員会 | 基準は学校からの距離であり、小学校では2キロ、中学校では4キロに設定している。統合された学校については、例外的に対象としている。 |
| 委員 | 現状の対象範囲については、地域によって不公平感があるように感じる。 |
| 教育委員会 | 基準によって運用しているが、ご意見については検討させていただく。 |
| 委員 | <13>のNo6「特別支援教育の充実」について、指標の指導教師一人あたりの児童生徒数が増えているが、児童生徒数そのものが増えていくということか。 |
| 教育委員会 | 特別支援学級の定員は8人となっており、それを超えると2クラスになるので、必ずしもそうとは限らない。 ただし、近年は子どもに合わせた場所で学ぶことがより重視されており、特別支援学級の児童生徒数が昔よりは増加傾向にある。 |
| 委員 | 昔と比べると学校の生徒児童数がだいぶ減ってしまったが、複式学級でもやっていけるのか疑問に感じている。 合理的に考えて安易に統合すればいいわけではないが、その件についてはどのように考えているか。 |
| 副市長 | 今後、統合については検討していかなければならない。 この件については、教育委員会だけで判断するのではなく、地域との話し合いが必要となってくる。 すぐには結論を出せる話ではないので、長い目で検討を重ねていく必要があると考えている。 |
| 委員 | 数年先は児童生徒数の見込みがたてられると思うので、子どもの教育や市としてどういう方向に進むのがいいのか、ある程度の時間をかけて検討された方が良い。 |
| 委員 | 中学校で部活が成り立たないなど、児童生徒数の減少により、問題も |

| | |
|-------|---|
| | <p>出てきていると感じている。</p> <p>学校の統廃合については、時間がかかる話であるので、検討についてはなるべく早く始めていただきたい。</p> |
| 会長 | <p><15>について、図書館の来館者数は増加傾向にあるが、貸出冊数については増えているのか。</p> |
| 教育委員会 | 増加している。 |
| 会長 | <p>公民館について、小中学生や高校生の利用促進を図ろうとされているが、どのような構想があるか。</p> |
| 教育委員会 | <p>小中学生・高校生にも聞きやすい単発講座を実施していくことで、推進している。</p> <p>小学生には、ものづくりなどクラフト系の講座が人気がある。</p> <p>中学生や高校生向けのものは今後検討したい。</p> |
| 会長 | <p>小学生でも低学年と高学年で違いがあると思われる。それぞれどんな内容が良いのか対象を絞って検討されると良いと思われる。</p> |
| 会長 | <p>(Action3 のまとめ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒数が減少する中で、スクールバスのルートやクラスの規模、部活動など多面的な視点で、自治体の財政面も考慮して、学校規模の適正化について検討していただきたいこと。 |
| | 委員会終了 |